



3学期の終業式まであとわずかです。「図書館だよりビタミンBook」は、新しく図書館に入ってきた本や図書委員がおすすめする本の紹介、図書館主催の行事の案内などを書いてきました。4月からも、「図書館だよりビタミンBook」を楽しみにしててください。

図書委員がおすすめする本 Part2

各クラスの図書委員がおすすめする本です

書名:『わたしの幸せな結婚』 著者名: 顎木ああくみ 出版社: KADOKAWA
 泣ける度★★★ 為になる度★★ 恐怖度★ 癒やされ度★★★★ きゅんきゅん度★★★★
 おすすめ度★★★★★



あらすじ: 名家に生まれた美世は、実母が早くに亡くなり、継母と義母妹に虐げられて育った。嫁入りを命じられたと思えば、相手は冷酷無慈悲と噂される若き軍人、清霞。大勢の婚約者候補たちが三日と待たずに逃げ出したという悪評の主だった。初対面で辛く当たられた美世だけれど、実家に帰ることもできず、日々料理を作るうちに少しずつ清霞と心を通わせていく。これは、愛されて幸せになるまでの物語。

感想: 初めは好きな芸能人が映画に出るから、予習として小説を読み始めたけど、読んでいるうちに話が面白くて最終巻まで読んじゃいました。美世と清霞のお互いを思いやる心や純粋な気持ちに応援したくなりました。こんなにも熱中した小説は初めてでした。
 (1B 土肥未佳)



書名:『二月の勝者』 著者名: 高瀬志帆 出版社: 小学館
 泣ける度★ 為になる度★★★★

あらすじ: 中学受験のための塾で志望校に合格するための話

感想: 私は中学受験の経験はないけれど、小学6年生と保護者の葛藤がすごかった。 (1C 貴田菜月)

書名:『僕ってなに』 著者名: 三田誠広 出版社:

あらすじ: 大学生になって東京で暮らし始めた主人公がいろいろな人と関わっていく中で、自分は何なのかを考えている。

感想: 登場人物のいろいろな考え方や暴力を見て、自分の立場について考えている主人公を理解するのが、むずかしかった。
 (1D 谷本碧磨)



書名:『世界からボクが消えたなら』 著者名: 涌井学 出版社: 小学館

泣ける度★★★★ 為になる度★★★★ 恐怖度★★ 癒やされ度★★★★

あらすじ: ある日、ご主人さまは余命わずかだと宣告され、自分と全く同じ姿をした悪魔に明日死ぬということをごげられた。そこでひとつの提案を持ちかけられます。「この世界からモノをひとつ消す。そのかわりにキミの命を1日分だけ延ばす」そして1つまた1つとモノを消してゆきます。そして悪魔はついに猫を消すことを提案します。「猫を消さなきゃご主人さまが死んでしまう。だからボクは消えなきゃならない」。そこで、ご主人さまが選んだ決断とは・・・という主人公と猫視点で書かれた感動物語です。

感想: やはり最後のシーンが一番感情を揺さぶられた気がします。個人的には猫と悪魔のやりとりが好きです。悪魔の悪魔らしい立ち振る舞いが良い味を出していると思います。(1D 甲斐康暉)



♪♪新しい本がいっぱい♪♪



	書名	著者名	出版社	分類番号
1	ザイム真理教	森永卓郎	三五館シンシャ	342.1
2	本当に危ない闇バイトの話	廣末登 他	金の星社	368.6
3	なるには Books 高校調べ美術科高校	益田美樹	ペリかん社	376.8
4	なるには Books 大学調べ生命科学部	佐藤成美	ペリかん社	376.8
5	日常は数学に満ちている	三谷純	山と溪谷社	410.79
6	動物園・水族館の子づくり大作戦	成瀬悦雄(編著)	緑書房	481.35
7	チョコレートレシピ <small>実験して楽しむ22のお菓子</small>	Sachi-homemade	SE	596.65
8	世界のスゴイ絵画	佐藤晃子	Gakken	720
9	文豪ストレイドッグス⑥ (漫画)	春河35(漫画)	KADOKAWA	726.1
10	文豪ストレイドッグスわん!⑬ (漫画)	かないねこ(漫画)	KADOKAWA	726.1
11	日本語探求のすすめ	日本語学会(編)	大修館書店	810
12	第六版 新版・俳句歳時記 春	桂信子 他(監修)	雄山閣	911.307
13	第六版 新版・俳句歳時記 夏	桂信子 他(監修)	雄山閣	911.307
14	第六版 新版・俳句歳時記 秋	桂信子 他(監修)	雄山閣	911.307
15	第六版 新版・俳句歳時記 冬	林信子 他(監修)	雄山閣	911.307
16	第六版 新版・俳句歳時記 新年	林信子 他(監修)	雄山閣	911.307
17	転生したらスライムだった件②	伏瀬	マイクロマガジン	913.6
18	灰色の北壁 (文庫)	真保裕一	講談社	913.6
19	一人称単数(文庫)	村上春樹	文藝春秋	913.6
20	ぼくはポンコツ自販機 (絵本)	山本久美子(絵)	あさ出版	913.6
21	ゲーテはすべてを言った	鈴木結生	朝日新聞出版	913.6
22	鳶重の矜持	車浮世	双葉社	913.6
23	はじめてのクリスマス (絵本)	シドニー・スミス(絵)	偕成社	933.7
24	せかいいち大きな女の子のものがたり	ポール O.セリンスキー(絵)	富山房	933.7



こんな本、どうですか (*^o^*)



『ヒロイン』 桜木紫乃(著) 毎日新聞出版
 1995年3月のある日、渋谷駅で毒ガス散布事件が発生した。宗教団体「光の心教団」の幹部に、何も知らないまま同行させられた23歳の岡本啓美の17年間におよぶ逃亡劇。ぐいぐい引き込まれます。
 【913.6】

『藍を継ぐ海』
 伊与原新(著)
 『宙わたる教室』で注目されている作家です。今回第172回直木賞を受賞しました。
 『藍継ぐ海』は5つの短篇からなるこの本の最終章に収められています。徳島の海辺の小さな町でウミガメの卵をひとり育てようとする沙月が主人公。読みやすい作品です。
 【913.6】



